

オンラインを利用した 科学館同士の連携企画の報告

日立シビックセンター科学館
柴田 有貴

目的

- ・ 外出自粛中の子どもたちに科学実験の動画を楽しんでもらう。
- ・ 科学館同士の動画を繋ぐことで、他の科学館を知るきっかけになる。

実施内容

複数の科学館でYouTube等を利用した実験動画のリレー配信

経緯

- ・ 4月に、コロナによる休館の中、各館の活動内容についてZoomで情報交換会を実施。
（前年度の「日立サイエンスショーフェスティバル（サイエンスショー研修会）」の参加者10名程度）
- ・ 実験動画の配信の話題から、各館の動画を繋いだらもっとおもしろくなるのでは、と意見が出る。
- ・ 参加者のうち、すぐに対応可能な4館で試験的に実施（5月下旬）。
- ・ タイトルは「めざせ日本一周！サイエンスショーリレー」とする。
- ・ 「日立サイエンスショーフェスティバル」の参加者（過去3年間）へ一斉メールをし、全国版へと発展。

実施期間及び参加館

【第一弾（試験実施）】

令和2年5月19日（火）～26日（火）

名古屋市科学館、浜松科学館、愛媛県総合科学博物館、日立シビックセンター科学館の
4館（動画本数：7本）

【第二弾】

令和2年7月23日（木）～8月29日（土）

上記4館を含めた23館（動画本数：35本）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
★ 情報交換	↔ 第一弾実施			↔ 第二弾実施				
	← 案内メール送付・申込期間	→						

参加館の反応（抜粋）

- ★他館の実験動画を見ることができて刺激になった、勉強になった（多数）。
- ★動画の再生回数が増えた、自分の館をPRするいい機会だった（複数）。
- ★第一弾を見た視聴者から、「ぜひここ（地元の科学館）でも」というコメントが届いた。
- ★お客様向けでありながら、関係者向けの要素（館の様子を知る、実験のネタ、見せ方を学ぶ）もあり、とてもよかった。
- ▲通常の運営をしながら動画を制作するのは大変だった（複数）。

まとめ・所感

- ・参加した館は、すでに動画配信を行っているところが多かったが、中には企画参加がきっかけで実験動画を制作した館もあった。
- ・当館で開催している「日立サイエンスショーフェスティバル」が今年は中止となったが、この企画が研修のようになったと感じた。
- ・今後の研修の可能性として、オンライン参加も検討できると感じた。